

耳と目のブックリスト

聴力・視力を調べてみませんか？

※資料は貸出中場合があります。

『人生の途上で視力を失うということ』

—心のマネジメントから補聴器、人工内耳、最新医療まで—

キャサリン・ブートン著 明石書店 2016年1月刊

著者はマスコミで働いていたが、聴力を喪失した。専門家や同じ障害を抱える人々取材して、原因、対処法、生活上のアドバイスをまとめたノンフィクション読物。

『難聴に関するガイドブック「難聴者、自立を」—補聴器・周辺機器編—』

中園秀喜編 田中美郷監修 ベターコミュニケーション研究会 2011年3月刊

難聴や聞こえにくくなった場合に役立つ情報がまとめられた冊子。補聴器の種類や比較の一覧表や、補聴器、人工内耳、助聴器の違いについても説明している。WEB版でさらに詳しい情報を読むことができます。

『NHKきょうの健康 2016年9月号 特集：目の病気最新情報』

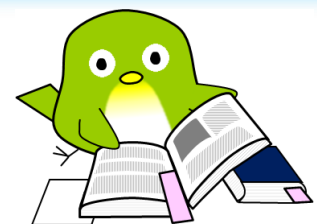
かすんで見える、ゆがんで見える、欠けて見えるなど目の見え方がおかしいと感じる場合、どんな病気が隠れている可能性があるのか。視力検査、屈折検査、眼圧検査…といった病気の診断のための様々な検査について、簡潔に分かりやすく紹介しています。

『即効！「見る力」フィットネス—視力回復で近視も老眼も怖くない—』

中川和宏著 新潮社 2013年5月刊

パソコン近視やドライアイ、老眼から見る力を取り戻すフィットネスを紹介した本。遊び感覚でトレーニングしてみようとすすめています。著者は、ビジョン・フィットネスセンター、集中力塾所長。

その他にも図書館ではたくさんの資料があります。
どうぞご利用ください！



調布市立図書館50周年